教育大綱かけがわ（案）に関するパブリックコメント

1　実施期間　　令和８年１月16日（金）～令和８年２月16日（月）

2　意見数　　２０件（７人）

3　意見の概要

NO.	人数	項目（分野）	意見	市の考え方
1	1	その他	お茶産業をはじめとする地域の産業や、ベンチャー企業、個人と連携した授業の実施を検討すべきである。	子どもたちの学びに関して、検討を求めるご意見であることから、掛川市教育委員会と情報共有し、いただいたご意見は参考意見とさせていただきます。
2		基本方針2	授業や芸術、選択できる時代に変革していくべき	子どもたちの学びに関して、検討を求めるご意見であることから、掛川市教育委員会と情報共有し、いただいたご意見は参考意見とさせていただきます。
3		その他	タブレットの廃止を選択制とすることを検討すべきである。	子どもたちの学びに関して、検討を求めるご意見であることから、掛川市教育委員会と情報共有し、いただいたご意見は参考意見とさせていただきます。
4	2	その他	地域の子どもたちのために、より多くの学びや創造性、楽しさを集めようと努めている姿勢を高く評価する。	引き続き、地域の皆様と協力しながら、子どもたちの健やかな成長を支えていけるよう取り組んでまいります。
5		その他	学生の通学路には交通事故が多発している箇所があり、保護者は登下校時の安全に不安を感じている。これらの場所に横断歩道を設置することで、子どもたちの安全をより確保してほしい。	子どもたちの安全安心に関して、取り組みを求めるご意見であることから、掛川市教育委員会及び関係機関と情報共有し、いただいたご意見は参考意見とさせていただきます。
6	3	基本方針	環境づくりとまちづくりの表現が重複している印象が否めない。環境づくりは「市の枠組みを超えた個を高める学びの環境づくり」、まちづくりは「人との関わりを通して双方向の関係性を実感できるまちづくり」と明確に区別することを提案する。	「環境づくり」では、子どもたちが多様な学びの機会を得て、自ら考え続ける力を育むことを目的に、学びの場や先進的なテクノロジーの活用、市内外・世界へ視野を広げることに重点を置いております。一方で、「まちづくり」では、地域の歴史や文化、人との関わりを通じて、互いに認め合い、思いやりの心を育む社会の構築を目指してまいります。 基本方針の「ひとづくり」、「環境づくり」、「まちづくり」はそれぞれ異なる視座と目的を持ちながらも密接に関わり合いながら子どもたちの成長のために不可欠なものと認識しております。いただいたご意見も参考に取り組んでまいります。
7	4	その他	子どもたちが自ら課題を発見し探究する力を育成するため、学校現場でのプロジェクト型学習や地域課題を扱う授業をさらに充実させてほしい。	子どもたちの学習に関して、取り組みを求めるご意見であることから、掛川市教育委員会と情報共有し、いただいたご意見は参考意見とさせていただきます。
8		基本方針2	AIやICT活用の重要性が記載されているが、すべての子どもが平等にICT機器を利用できるよう、家庭環境による格差を解消するための具体的な方策も盛り込んでほしい。	大綱は、地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定め、詳細な施策を定めるものではないこと（文部科学省の通知抜粋）から、いただいたご意見は掛川市教育委員会と情報共有し参考意見とさせていただきます。
9		前文	「これらの視点にたって」という表現については、一般的には「これらの視点に立って」と漢字を用いる方が自然であると考える。	ご意見を参考に「これらの視点に立って」と表現を修正します。
10		めざす姿	郷土愛を育むため、地域の歴史や文化を学ぶ機会をさらに増やしてほしい。また、地域住民との交流やフィールドワークなども積極的に取り入れるべきである。	子どもたちの学習に関して、取り組みを求めるご意見であることから、掛川市教育委員会と情報共有し、いただいたご意見は参考意見とさせていただきます。
11		めざす姿	レジリエンスの育成が掲げられているが、いじめや不登校、SNSトラブルなど子どもたちの心のケアにも重点を置いた取り組みを求める。	基本方針３に示しているとおり、互いのちがいを尊重しながら他者を思いやり、認め合うことがあたりまえの文化となる社会の構築に努めてまいります。いじめ・トラブルに関して、取り組みを求めるご意見であることから、掛川市教育委員会と情報共有し、いただいたご意見は参考意見とさせていただきます。
12		めざす姿	目指す姿の表現、人をひとと表現していることから、目指すについてもやわらかい表現となるようひらがなとしてもよいと思う。	教育大綱かけがわでは、「人」という名詞をあえて「ひと」とひらがなで表記しています。「こころ」、「いのち」といった表現と同様に、やさしさや温かみを強調したいという狙いがあります。ご意見を参考にやわらかい表現となるよう「目指す姿」については、「めざす姿」とひらがなで表記します。
13		めざす姿	「自分らしくチャレンジできるひと」など、「ひと」がひらがな表記となっているが、「人」と漢字表記に統一することも検討してよい。行政文書としてどちらの表記が正しいか不明だが、いずれかに統一感を持たせてほしい。	教育大綱かけがわでは、「人」という名詞をあえて「ひと」とひらがなで表記しています。「こころ」、「いのち」といった表現と同様に、やさしさや温かみを強調したいという狙いがあります。いただいたご意見は参考意見とさせていただきます。
14		その他	子ども自身が学校や地域の活動に意見を述べる場を設け、その意見を教育方針や活動に反映できるようにしてほしい。	掛川市教育委員会と情報共有し、いただいたご意見を参考に取り組んでまいります。
15		基本方針2	安全で快適な学習環境を確保するため、学校施設のバリアフリー化や空調設備、図書室およびICT環境の整備を進めてほしい。	学校施設の設備に関して、整備を求めるご意見であることから、掛川市教育委員会と情報共有し、いただいたご意見は参考意見とさせていただきます。
16		めざす姿	自治会や近所付き合いのあり方が以前とは大きく変化し、距離感を重視する市民が増えている。市民総ぐるみといった表現がなくなり、前回から刷新された点は評価できる。一方で、友人や家族など自分の外側を大切にする姿勢も忘れないような教育方針が求められる。大綱の目指す姿「平和を愛し他者の考えや痛みに共感できるひと」における「他者」を「人（ひと）」と表記することも検討してほしい。	身近な家族や友人、地域の人々、異なる背景や価値観を持つ人々、さらには自分とは異なる考え方や立場を持つすべての人を「他者」と表現しました。子どもたちが自分以外の人々と関わり、互いのちがいを認め合い、思いやりや共感する心を育む対象となる存在を、広く意味しております。いただいたご意見は参考意見とさせていただきます。

17	5	その他	ICT活用を進める中でも、低学年における予定の書き写しや「書く」ことのアナログな動作が持つ教育的価値（記憶の定着や自立心の育成）を再評価すべきである。デジタルとアナログの手法を家庭の判断で選択できる柔軟な運用を求める。	子どもたちの学びに関して、検討を求めるご意見であることから、掛川市教育委員会と情報共有し、いただいたご意見は参考意見とさせていただきます。
18	6	その他	タブレットやデジタル機器の利用は効率的な面もあるが、長時間の使用は子どもの脳や心身に負担をかけ、五感を使った体験や手先・体を動かす学びの機会を奪う恐れがある。現代は体験活動が減少しがちであるため、自然体験や仲間と協力する活動、生活リズムや食事を整えることを重視した教育が必要である。また、家庭だけに負担が偏らないよう、家庭支援の充実や地域全体で子どもを育てる体制の強化を求める。デジタル機器の利用は一定の教科や時間に限定し、休み時間やゲーム目的での使用は控えるべきである。	子どもたちの学びに関して、検討を求めるご意見であることから、掛川市教育委員会と情報共有し、いただいたご意見は参考意見とさせていただきます。
19	7	その他	私は高校進学で掛川を離れるが、これから中学生になる子どもたちが幸せになり、後悔のない選択ができる環境をつくってほしいと考えている。私は時々学校を休んでいるが、それを「申し訳ない」「悲しい」とは思わず、自分の将来につながる大切な時間だと感じている。すべての子どもが「後悔のない自分の中の最高の選択」をできるようにしてほしい。学校が必ずしも全員にとって最適な場所ではなく、夢や目標、そこに至る手段は一人ひとり異なる。不正解はなく、教育が選択肢を狭めたり、貴重な時間を奪ったりしていないか、今一度考えてほしい。	いただいたご意見を参考に取り組んでまいります。
20		その他	私が望む教育の姿は、一人ひとりが自分の志す姿に向かって進める環境である。現状では、家庭の事情で思うように目指せない子、部活動クラブ化で輝ける場を失った子、課題を出せず背景を理解されない子、行事に苦しみを感じる子など、多様な悩みを抱える生徒がいる。私たちの声をもっと聞き、現場をしっかり見てほしい。掛川市がさらに素晴らしい街になることを強く願い、期待している。	いただいたご意見を参考に取り組んでまいります。